

平成28年度 公益社団法人静岡県栄養士会定時総会 議案

日 時 平成28年6月5日(日)
14時45分～16時15分
会 場 静岡労政会館 6F 大ホール
静岡市葵区黒金町5-1

総 会 次 第

1. 開 会
2. 挨拶
3. 表 彰 会長表彰
受賞者謝辞
4. 来賓挨拶
5. 議長選出
6. 議事録署名人選出
7. 書記指名
8. 総会成立宣言
9. 議 事
 - (1) 第1号議案 平成27年度事業報告承認の件
 - (2) 第2号議案 平成27年度貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)及び財産目録承認の件
 - (3) 第3号議案 役員選任の件
平成28～29年度理事
平成28～29年度監事
 - (4) 第4号議案 日本栄養士会代議員承認の件
 - (5) 報告事項 ①平成28年度事業執行計画について
 - 1) 平成28年度事業計画の件
 - 2) 平成28年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みの件②定款細則改正の件
 - (6) その他

ご挨拶に先立ち、このたび熊本・大分大地震で犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。そして、甚大な被害にあわれた方々に、心からお見舞い申し上げます。

正会員並びに賛助会員の皆様には、平成27年度事業の執行にあたりご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。皆様のご協力により多くの事業を実施することができ、本日の定時総会にてご報告できること、大変うれしく思います。会員の皆様には深く感謝申し上げます。そして、26、27年度理事・運営委員として汗を流してくださった役員に感謝します。

さて、超高齢社会を国民が身近なこととして感じるようになった今日、余生を闘病生活で暮らしたくない、自分たちの医療費や介護に掛かる費用を次世代の負担としたりしたくないと思いつつ生活する高齢者が増えています。運動習慣・食習慣・社会参加が健康長寿のキーポイントと言われます。健康長寿トップクラスの静岡県民は、より強く関心のあるところであると思えます。食習慣の指導を通し、県民の健康の維持増進に寄与するのが私たちの職責です。栄養士・管理栄養士一人ひとりの仕事での成果を職能団体である栄養士会がまとめ、EBNとして世に出し、より強い国民の支持を受けることが大切であります。

新年度より、新執行体制に加わった理事と運営委員の皆様には、静岡県栄養士会会員の代表として、県民の健康維持増進と会の益々発展のためにご尽力くださることをご期待します。

会員の皆様には、引き続きご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

公益社団法人 静岡県栄養士会
会 長 坪 井 厚

第1号議案

平成27年度事業報告（案）

1 公益事業

I 公1 科学的根拠に基づく食と栄養の指導や支援を通して、県民の公衆衛生の向上に寄与する事業

(1) 健康食生活公開講座

開催日	会 場	内 容	講 師	参加人数
5月25日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	食品表示法の概要と栄養成分表示義務について	公益社団法人 日本栄養士会 専務理事 迫 和子	106
6月6日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	「楽しく食べて健康に ～未来を変える食のチカラ～」	神奈川県立保健福祉大学 学長 中村丁次 (日本栄養士会 名誉会長)	180
支出決算額				302,211円

(2) 健康栄養知識普及事業

開催日	名 称	開催場所	担当栄養士	参加人数	啓発人数
6月6日	第35回歯と口の健康大会	御殿場市市民会館	高橋明子 稲 葉子他	1,628	960
6月13日	第37回健康と歯のフェスティバル	裾野市民文化センター	荻野みづ江	566	190
6月27日	第10回おやま健康フェスタ	小山町総合体育館	日下部郁代 岩田奈緒美他	1,300	250
7月4日	南部保健福祉センター健康フェア	南部保健福祉センター	石垣史子	245	69
7月4日	集団がん検診	龍山森林文化会館	森口知世枝	94	62
7月5日	集団がん検診	龍山保健センター	宮澤弘子	102	70
7月18日	長田保健福祉センター健康フェア	長田保健福祉センター	成澤好美	178	66
7月26日	北部保健福祉センター健康まつり	北部保健福祉センター	金嶋祐子	990	46
8月19日	菊川市食育フェア	菊川市総合保健福祉センター	鈴木順子 山本さとみ	120	100
9月6日	さくまふれあいまつり	佐久間保健センター	守屋あけみ 坂口ひろみ	270	40
9月27日	2015健康まつり	富士市フィランセ	村松美栄子 長田みのり他	10,120	200
9月27日	東部保健福祉センター健康まつり	東部保健福祉センター	村松路子	1,038	38
10月4日	牧之原市ふれあい広場	牧之原市健康福祉センターさざんか	大橋路代 村田直美他	2,500	300
10月18日	フェスタ南伊豆（健康まつり）	南伊豆町湯けむりホール	大沼美紀子	160	126
10月17日	ふれあい広場	菫山福祉・保健センター	角田裕子 山本薫子他	3,500	320
10月18日	ふれあい広場	松崎町立松崎中学校体育館	森 優	500	50

開催日	名称	開催場所	担当栄養士	参加人数	啓発人数
10月18日	健康まつり	大里保健福祉センター	江頭富久子	244	76
10月18日	かけがわ健康フェア	掛川市徳育保健センター	村松恵美子 松田寿子他	1,800	138
10月24日	薬科保健福祉センター健康まつり	薬科保健福祉センター	海野順子	1,465	46
10月25日	ふれあい広場	下田市民文化会館	大沼美紀子	1,500	117
10月25日	吉田町ふれあい広場	吉田町健康福祉センターはあとふる	小野田美津子 青島千恵他	2,000	500
11月1日	ふれあい健康福祉まつり	水窪総合体育館	宮澤弘子 坂口ひろみ	403	162
11月8日	ふるさとまつり	黄金崎クリスタルパーク	佐野ちえみ	3,000	58
11月8日	健康フェスタ	伊東市役所	杉本尚子 西島一恵他	930	57
11月8日	市民すこやかふれあいまつり	三島市立北小学校・北幼稚園	神尾房子 小柳由美	7,000	120
11月14日	城東保健福祉センター健康まつり	城東保健福祉センター	金嶋祐子	1,414	32
11月15日	健康福祉ふれあい広場	東伊豆町保健福祉センター	鶴丸さやか	608	23
11月22日	第11回ふれあいまつり 竜洋	竜洋体育センター	青木宣子 鷹野洋子他	1,400	91
11月28日	食育フェスタ2015	清水町役場 1階住民ホール	大場洋子	1,584	141
12月12日	スポーツ&健康フェスタinふじえだ	藤枝市武道館	増田姫誉美 木村郁代	2,200	2,200
				48,859	6,648
				支出決算額	421,382円

(3) 健康づくり啓発協力事業

開催日	会場	内容	担当栄養士	参加人数	
9月12日	小山町総合文化会館	ふじのくに健康長寿サミット 「野菜をしっかりと食べよう～野菜の彩りに含まれた『機能性成分』で健康長寿～」 パネル展示、レシピ配布、野菜不足度チェック表による啓発	小田恵子 池谷広美 白石明子 佐野順子	1,400	
9月19・20日	ツインメッセ静岡	ふじのくにケアフェスタ2015 ・福祉栄養士の仕事紹介、低栄養予防クイズ、野菜不足度チェック表・リーフレット配布	松井温子 森下愛子 清水沙紀 油比藤照子 秋山真知子 神悠他	460	
10月10・11日	ツインメッセ静岡	しずおか元気応援フェア 体験型ブース「野菜を食べて 元気な体をつくろう」 野菜当てクイズ、野菜と栄養クイズ、展示・相談	神戸千恵子 成澤好美 池ヶ谷悦子 金嶋祐子 石垣範子 松井温子他	1,154	
2月29日	プラサヴェルデ	しずおか健康づくりサポーター連携・協働のつどいin沼津 「食生活(栄養)」…美味しく減塩、高血圧の予防 展示・試食・リーフレット等配布	齋藤秀和 西島あけみ 前田篤史 関明子	110	
				支出決算額	203,415円

(4) 在宅介護者食生活支援研修会

開催日	会場	内容	講師	参加人数	
11月11日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	認知症患者の栄養管理について ～疾病ごとの特長と食べさせケアについて～	キューピー株式会社 研究開発本部技術研究所 健康栄養研究部 庄司 龍市	69	
				支出決算額	150,970円

(5) 幼児から始める食育講座事業【静岡県委託】

開催日	会場	内容	講師	参加人数	
食育推進リーダー研修会					
6月27日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	ふじのくに多様な和の食文化の推進について	静岡県経済産業部農林業局茶業農産課 食農班 主査 平野香里	34	
		地域に根差した食と農の連携と子どもに伝えたい郷土の食	静岡英和学院大学短期大学部 食物学科 准教授 前田 節子		
8～12月	幼稚園等 東部3ヶ所 中部3ヶ所 西部3ヶ所	【出前講座】 講義：幼児期に必要な栄養、和の食文化の良さ、地産地消、「食事バランスガイド」等への理解 調理実習及び試食	食育推進リーダー 東部：山下裕美 他5名 中部：神戸千恵子 他5名 西部：西岡志貴代 他4名	94	
				支出決算額	804,729円

(6) 食の環境整備事業(栄養成分表示店定着促進)【静岡県委託】

開催日	会場	内容	担当栄養士	参加店舗数
7~2月	静岡県内の飲食施設	店頭メニューの栄養価計算 栄養成分表示の指導	地域活動 佐野ちえみ 他15名	24
支出決算額				1,449,397円

(7) 外食料理栄養成分表示促進事業【静岡市委託】

開催日	会場	内容	担当栄養士	参加店舗数
6~2月	静岡市内の飲食施設	店頭商品の栄養価計算 栄養成分計算、食事バランスガイド表示及びヘルシーメニュー・ヘルシーマーク表示指導	地域活動 酒井みどり 他9名	26
支出決算額				1,192,626円

(8) 外食栄養成分表示推進事業【富士宮市フードバレー推進協議会委託】

開催日	会場	内容	担当栄養士	参加店舗数
7~1月	富士宮市内の飲食施設	協力店・登録店の募集、協力店等の食事バランスチェック表示の確認、栄養成分表示計算及び表示作成、地産地消登録店メンテナンス、マップ配付、食飲名簿の作成	地域活動 芦澤裕子 田山恵子 金塚円花 長島顕子 北川ふさ子 三浦順子 塩川知子 若林恭子 竹川美江	指導及び相談 10 メンテナンス 66
支出決算額				911,216円

(9) 飲食店等の栄養成分表示定着促進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託】

開催日	会場	内容	担当栄養士	参加店舗数
8~1月	静岡県内の飲食施設	店頭商品の栄養価計算 栄養成分表示の指導	地域活動 佐野ちえみ 稲葉杏子 森下洋子 渡邊恵美子 木岐久美子 小野田美津子 原田陽子 本多美恵子	東部 3 中部 3 西部 3
支出決算額				499,453円

(10) 元気を見つめる外食活用推進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託】

開催日	会場	内容	担当栄養士	参加人数
10月23・24日	土肥高等学校	高校生を対象とした講習会	佐野ちえみ	11
9月15・16・24日	小笠高等学校	・食事バランスガイドの説明 ・簡単な野菜料理実習	青島千恵 小野田美津子	64
10月21日	ハートフルダイニング おんふらんす	飲食店を会場に、消費者に対し食事バランスガイドの説明と健康な食生活の講話を行う「美味しい健康講座」を開催	池谷広美 森下洋子	15
11月27日	カフェ サロン アリス		竹川美江 塩川知子	18
11月24日	エピファニー		木下初代 請井久仁香	11
5~3月	学校、健康まつり等 県内26箇所	外食推進ガイドブック「副菜(野菜料理)お“ひとつ”召し上がれ」を活用した食事バランスガイド啓発活動	地域活動 高橋明子他 約80名	3,867冊
支出決算額				629,005円

(11) 健康づくり提唱のつどい【(株)ヤクルト委託】

開催日	会場	内容	講師	参加人数
2月13日	静岡県男女共同参画 センター あざれあ	食事は生きること ~賢く食べて、腸から健康に~	神奈川工科大学 応用バイオ科学部・栄養生命科学科 教授 饗場 直美	180
		腸内フローラと健康 ~高齢者の健康管理における プロバイオティクスの有用性~	株式会社ヤクルト本社 広報室 早川 和仁	
支出決算額				461,480円

(12) 栄養ケア・ステーション推進事業

登録者数	管理栄養士 200名 ・ 栄養士 24名	計 224名
------	----------------------	--------

①業務従事者研修会

開催日	会場	内容	講師	参加人数
4月4日	沼津労政会館	㈱全国訪問健康指導協会 企業説明+特保研修	久保田美保子	20名
4月12日	浜松労政会館		菊池 眞代	30名
4月18日	パルシェJR静岡ビル		山内 蕙子 先生	35名
3月27日	大塚製薬㈱静岡支店	ウエルネスセミナー講師講習会	大塚製薬㈱御担当者	18名

②事業実績

職業紹介事業

求人数(本年度新規)	39件
求職者数(本年度新規)	12名
職業紹介者数	延べ13名
雇用契約成立数	11件

受託事業

業務内容	受託件数	稼働日数	延べ人数	依頼元	内 容 ()内は対象者数
特定保健指導	36	507	507	㈱ホームナース	トヨタ販売連合健康保険組合 デンソー健康保険組合 福山通運健康保険組合 デンソー健康保険組合 面談・電話支援(256人)
	21	93	117	テンプスタッフ・ライフサポート㈱	ホンダ健康保険組合(ホンダロジスティクス・ ショーワ浅羽・ショーワ御殿場) JFE健康保険組合(JFEスチール知多製作所) 富士フィルムグループ健康保険組合 (富士フィルム吉田南・足柄・小田原) 面談・電話支援・メール支援(439人)
	1	12	16	特種東海健康保険組合	島田工場 初回・中間・最終面談・電話支援(21人)
	4	10	10	静岡県医師国民健康保険組合	診療所の職員 面談 (4人)
	1	24	24	㈱クックパッドダイエットラボ	東芝テック静岡事業所 面談・メール支援 (52人)
小計	63	646	674		
病態栄養 食事指導	1	1	2	富士市難病団体連絡協議会	難病患者総合相談会での個別栄養相談 (1人)
	1	64	64	富士通㈱沼津工場	個別栄養食事指導
	4	4	8	静岡県腎友会	市民健康セミナー・東・中・西部料理講習会(117人)
	4	4	4	ホトニクス・グループ健保	病態栄養食事指導 (9人)
小計	10	73	78		
在宅介護支援	6	49	49	浜松市	栄養改善事業:浜松市高齢者地域支援事業 (10人)
	1	1	1	㈱ホームナース	前期高齢者訪問相談事業 (1人)
	1	1	1	富岳館高校	高等学校の授業・ケア食の調理実習を含む (28人)
小計	8	51	51		
食育支援	40	40	40	静岡市	あそび・子育ておしゃべりサロン事業 (市内こども園:未就園児対象) (458人)
	34	32	32	一般社団法人ファイブ・ア・デイ協会	5 A DAY食育プログラム・食育体験学習 (大型スーパーでの食体験ツアー講師) (798人)
	5	5	10	静岡県牛乳普及協会	骨密度測定会後の栄養相談 (960人)
	13	13	13	大塚製薬㈱	講演「みんなの食育アカデミー」 (392人)
小計	92	90	95		
食と健康支援	1	1	1	静岡県生活衛生営業指導センター	講演:調理師養成施設の学生向け (45人)
	1	6	6	ホトニクス・グループ健保	ホームページ掲載レシピ
	12	58	58	日本盲導犬協会富士ハーネス	施設利用訓練者の食事調理・提供
	1	1	1	JA遠州中央出荷者協議会	総会における講演 (120人)
	1	2	2	伊豆市	市民健康講座「栄養講義」 (40人)

食と健康支援	1	1	1	給食協会沼津伊豆支部	講演:和食の歴史と文化 (50人)
	1	4	4	静岡県社会就労支援センター	知的障害者介護職員初任者研修講師 (8人)
	1	1	1	しずおか健康長寿財団	「生きがいサポート事業」講演 (15人)
	1	20	20	静岡県食品衛生協会	調理師試験準備講習会講師
	1	1	1	㈱ACO	HP掲載用乾物メニューの栄養価計算・原価計算等
	1	1	1	健康いきいきフォーラム21	栄養相談:「みんなで進める健康づくり」(21人)
小計	23	97	97		
外食栄養成分表示	0	0	0		
小計	0	0	0		
合計	196	957	995		
その他	取材:SBSラジオ 等				
					支出決算額 10,201,533円

(13) 県民栄養調査に関する事業

調査内容	「成人病胎児期起源説」に関する意識調査	
調査方法	無記名の自記式アンケート調査	
対象者および人数	県内の大学、短期大学部栄養関係学科に在籍する女子学生 573人(県立大学、英和学院・東海短大・日大短大)	
調査期間	2015年10月～11月(調査用紙 印刷 2015年7月、発送 2015年9月)	
アンケート集計期間	2015年12月～2016年1月(日本大学短期大学部 篠原ゼミ)	
		支出決算額 108,885円

(14) 広報事業

開催日	広報部	回数等	情報管理	回数等
4～3月	広報部会	1回	ホームページアクセス数	17,751件
	トピックス静栄作成会議(第8号作成)	1回	受信メール処理件数	7,543件
	メール部会	3回	送信メール処理件数	5,748件
	ホームページ更新(月2回)	24回	ホームページにおける研修会受付回数	25種1,131件
	メールマガジン配信(月2回)	24回	メールマガジン登録者数(新規登録者数)	659名(143名)
	栄養士がすすめるメニュー応募数	0件		
				支出決算額 1,508,334円

II 公2 県民の健康維持増進を目的とし、他職種との連携を図り事業を推進するために、管理栄養士・栄養士の資質を向上する事業

(1) 職域別健康づくり推進研修会

事業部	開催日・会場	内容	講師	参加人数
学校・勤労者(合同)	8月29日 ペガサート	行動科学技法を用いた栄養教育	高崎健康福祉大学 教授 木村典代	34
公衆衛生・地域活動(合同)	10月31日 あざれあ	食事管理プロセス(献立計画・献立評価)	常葉大学健康プロデュース学部健康栄養学科 准教授 川上栄子	51
		食品成分表の読み方・使い方と新成分表(仮称:成分表2015)の概要 食事摂取基準2015を理解し健康な食事を考える	千葉県立医療福祉大学健康学部栄養学科 教授 渡辺智子	86
研究教育	10月3日 あざれあ	栄養士法の改革の理念と職業倫理	セントラル法律事務所(日本栄養士会 監事) 弁護士 早野貴文	41
地域活動	8月1日 あざれあ	外食栄養成分表示説明会 会員作成媒体を知り、活用の仕方を学ぶ 栄養成分表示事業説明	静岡県栄養士会地域活動事業部 理事 若林恭子	22
医療	6月20日 あざれあ	高齢化社会における病診、地域、施設間連携 経管栄養管理の新潮流 ～経鼻からの自然落下法の実践～	目白第二病院 副院長 水野英彰	78
		脂質異常症食事療法の現状 問題点展望	浅井内科医院 院長 浅井寿彦	72
	1月24日 あざれあ	運動器の健康を栄養から考える ～新しいガイドラインを踏まえて～	健康院クリニック 副院長 予防医療研究所 所長 細井 孝	49
福祉	6月20日 あざれあ	介護保険制度の概要及び改正のポイント	静岡県介護保険課支援審査班 班長 海野陽史	79
				支出決算額 1,300,446円

(2) 地区別健康づくり推進研修会

①地区代表者会議: 参加者(各地区代表者、副会長、地区事業部理事、研修部理事)

開催日	議事内容
第1回 5月9日	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度からの生涯教育について 地区別健康づくり研修会について 事業計画及び報告書の様式・ホームページ等について 年度予算及び事業報告書の提出の手順について 公益事業について 無料券の補てんについて
第2回 1月16日	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の生涯教育について 研修会の参加無料化について 地区別健康づくり研修会の進捗状況について 平成27年度の地区別健康づくり研修会事業計画について イベントの開催について

②各地区の研修会開催状況

地区	開催日・会場	内容	講師	参加人数
東伊豆・賀茂	6月13日 伊東市観光会館	がんの栄養管理と地域連携	大妻女子大学 教授 川口美喜子	23
	7月11日 伊東市観光会館	急性期から在宅までのリハ栄養の 地域・医療・介護の多職種連携	静岡市立清水病院 リハビリテーション科 科長 坂元隆一	12
田方	7月15日 韮山時代劇場	糖尿病腎症について	テルモ株式会社 石川 洋	13
	10月24日 修善寺生きいきプラザ	伊豆市社会福祉大会	ブース出展	(従事者数) 4
	11月11日 韮山時代劇場	分かりやすい栄養指導	管理栄養士 伊東松實	15
東部	7月11日 長泉町文化センター	代謝とは、代謝異常とは	子育てよろず相談伊東クリニック 院長 伊東和樹	20
	9月5日 コミュニティながいずみ	子どもの食物アレルギー	静岡県立こども病院栄養管理室 室長補佐 鈴木恭子	16
	11月21日 三島市生涯学習センター	介護食の実際 (調理実習あり)	(独)地域医療機能推進機構 三島総合病院栄養管理室長 杉山清子	18
富士・富士宮	6月14日 富士宮市保健センター	2015健康まつり	ブース出展 ・豆つかみ ・見直そう、豆のパワー	(従事者数) 4
	7月11日 富士市フィナンセ	子どもの食物アレルギー	熱海保健所 所長 後藤幹生	19
	11月7日 富士市交流プラザ	歯周病と糖尿病	志田歯科医院 院長 志田 剛	10
清庵	6月13日 江尻生涯学習交流館	聴いて伝えるコミュニケーション技法	メンタルオフィス「ココルーム」 代表 立川妙子	7
	2月6日 江尻生涯学習交流館	脂質代謝異常 効果の上がる栄養指導法	静岡県立大学食品栄養科学部 准教授 新井英一	20
	2月20日 江尻生涯学習交流館	SOAPの書き方 栄養指導報告書の書き方のコツ	日本大学短期大学部食物栄養学科 篠原啓子	21
中部	6月9日 あざれあ	機能的食品の活用	ヤクルト本社営業部組織販売課 課長 石田佳恵子	10
	11月17日 あざれあ	糖尿病腎症について	静岡済生会総合病院 稲葉直之	12
	1月26日 あざれあ	食物アレルギーについて	静岡県立こども病院 木村光明	20
志太・榛原	7月1日 吉田町中央公民館	食物アレルギーから考える食の未来	榛原総合病院小児科 部長 金 憲徳	25
	9月3日 藤枝市生涯学習センター	成長期のアスリートのための食事 ～基本と実際～	公認スポーツ栄養士 青島千恵	29
	11月11日 藤枝市生涯学習センター	直腸肛門疾患の診断と治療の よもやま話	錦野クリニック 院長 錦野光浩	14
中東遠	6月23日 月見の里学遊館	管理栄養士に学ぶ「伝える」「伝わる」 食生活 ターゲットは何ですか？	元ヤマハ健康管理センター管理栄養士 菊池眞代	19
	10月20日 月見の里学遊館	管理栄養士に学ぶ すぐに役立つ「高血圧と減塩」	浜松医療センター栄養管理科 副参事 岡本康子	22
	11月8日 袋井市浅羽保健センター	袋井市ふれあい夢広場 美味しいうす塩食でめざせ健康長寿	ブース出展 ・うす塩試食 ・塩分チェック 他	(従事者数) 10
西部	7月10日 浜松市福祉交流センター	食物アレルギーの病態と治療 upDate	浜松医科大学付属病院小児科 講師 福家辰樹	21
	9月11日 浜松市福祉交流センター	糖尿病治療の新たな展開	きくち内科クリニック 院長 菊池範行	23
	11月13日 浜松市福祉交流センター	ノロウイルスによる食中毒を 予防するために	(株)マルマ 研究開発部 部長 杉山寛治	16
	2月14日 浜松市高台協働センター	高台協働センター健康まつり	ブース出展 ・食事バランスの基本 ・生活習慣病予防 他	(従事者数) 4
			支出決算額	1,237,352円

(3) 病態栄養講座

開催日	会場	内容	講師	参加人数
7月4日	あざれあ	がん・消耗性疾患とカヘキシア ～栄養ケアの役割～	沖縄メディカル病院あがりはまクリニック 院長・	69
		認知症の摂食障害とその対応	金城大学 客員教授 吉田貞夫	73
10月3日	あざれあ	褥瘡治療における微量栄養素の有用性 ～コラーゲンペプチドを中心に～	京都大学医学部付属病院 疾患栄養治療部	67
		健康長寿のために食事をどのように考えるか！ ～厚生労働省「健康な食事のあり方委員会」報告に 基づいて～	副部長 幣 憲一郎	62
11月14日	あざれあ	食と栄養に関する基礎知識 脂質の栄養学(代謝と作用)	国立大学法人 徳島大学	93
		食と栄養に関する基礎知識 アミノ酸の栄養学(代謝と作用)	名誉教授 武田英二	92
			支出決算額	679,484円

(4) 生涯教育基本研修会

開催日	会場	内容	講師	参加人数
5月10日	あざれあ	栄養ケアプロセス (DVDによる研修会)	京都府立大学大学院 生命環境科学研究所 木戸康博	21
		栄養ケアプロセス 栄養診断	静岡県立大学食品栄養科学部 准教授 新井英一	37
		栄養ケアプロセス 栄養スクリーニング～栄養管理計画～	聖隷福祉事業団統計情報課 古橋啓子	33
6月6日	あざれあ	栄養の指導 (日本栄養士会が目指す栄養士・管理栄養士の将来像)	神奈川県立保健福祉大学 学長 中村丁次 静岡県栄養士会 会長 坪井 厚	180
6月20日	あざれあ	チーム(多職種)による栄養管理	米山記念病院 松川純子	71
7月4日	あざれあ	栄養(食物)と医薬品の影響	静岡赤十字病院 伊藤裕子	69
		保健機能食品と栄養成分表示制度	有隣厚生会 東部病院 水室みどり	62
8月1日	あざれあ	非常食の緊急体制 非常時の食事提供	牧之原市健康推進課 水嶋美穂子	69
		リスクマネジメント: 栄養管理のリスクマネジメント、 給食管理のリスクマネジメント 他	静岡県栄養士会 副会長 菅野廣一	69
		リスクマネジメント(演習)	牧之原市健康推進課 大岩仁美他	69
9月13日	あざれあ	栄養ケアプロセス 栄養管理のモニタリング・再評価	静岡県立大学食品栄養科学部 准教授 新井英一	39
		栄養ケアプロセス 栄養管理記録	静岡県立大学食品栄養科学部 准教授 新井英一	39
		栄養ケアプロセス 栄養管理記録	聖隷福祉事業団統計情報課 古橋啓子	29
11月14日	あざれあ	食と栄養に関する基礎知識 国民の健康の増進の総合的な推進	聖隷福祉事業団統計情報課 古橋啓子	47
12月5日	あざれあ	根拠に基づいた栄養管理 食事摂取基準(2015年版)と慢性腎臓病対策の今後	焼津市立総合病院 名誉院長 菱田 明	68
			支出決算額	974,952円

(5) 災害時栄養支援事業

静岡県栄養士会は、平成25年5月10日災害対策基本法第2条第6号に基づく「指定地方公共機関」の指定を受け、災害支援体制の整備構築を図っている。

会議開催状況	静栄DAT運営会議 第7回:4月18日 第8回:9月12日 第9回:11月8日 (運営委員10名)	内容	・静岡県地域防災計画に関する支援計画の見直しについて ・ホームページの活用について ・被災地簡易メニュー集の紹介 ・県民への防災パンフレットについて ・静岡県栄養士会における災害対策マニュアルについて ・平成28年度事業計画・予算計画について ・災害支援金の積立金について ・茨城県災害支援活動報告について
静栄DATスタッフ登録		9月12日の研修会受講者に登録を呼びかけた。登録者数 93名(平成28年3月31日現在)	
災害支援研修会派遣	第4回JDA-DATフォローアップ研修会	9月27日	寺田直哉
	静岡県ふじのくに防災士養成講座	9月8日～11月7日(9日間)	寺田直哉
	静岡県危機管理部主催「ふじのくに防災マスター養成講座」	①11月26日・1月9日 ②11月26日・3月5日	①森田久美子 ②村井美保子

・災害時栄養支援研修会開催

開催日	会場	内容	講師	参加人数
9月12日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	災害時栄養支援スタッフ養成研修会		41
		「炊き出し名人」～包装食袋でつくる非常食～包装食料理の講話と演習	日本赤十字社 静岡県支部 組織振興課 奉仕・青少年係長 松居秀実	
		避難所運営ゲーム「HUG」体験	静岡県地震防災センター インストラクター 片井賢一	
			支出決算額	269,742円

2 収益事業

収1 販売等の収益事業

開催日	会場	内容	講師	参加人数
6月28日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	パソコンを使った給食管理システムの研修会	副会長 菅野廣一	4
7月12日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	パソコンを使った新栄養管理システムの研修会	理事 若林恭子	6
8月1日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	外食料理栄養成分表示システムの研修会	理事 若林恭子	21
栄養計算関連システム販売実績			【資料の販売】	
種別		新規	更新	
給食管理システム		18枚	31枚	
新栄養管理システム		4枚	7枚	
外食料理栄養成分表示計算システム		7枚	49枚	
			支出決算額	854,459円

3 会の運営に関する事項

(1) 定時総会開催

開催日	会場	出席会員数	議案事項
6月6日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	出席者 180名 書面による表決 612名 計 792名 (正会員総数 1,513名)	平成26年度事業報告承認の件 平成26年度貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)及び財産目録承認の件 役員選任の件 平成27年度事業計画の件 平成27年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みの件

(2) 理事会開催状況

開催日	会場	出席人数	議事内容
第1回 4月25日	静岡県栄養士会事務所	23	平成26年度事業報告及び決算の理事会承認の件 平成27年度定時総会及び公開講座の運営について 第1回静岡県栄養士会学術研究会について 厚生労働省「後期高齢者栄養指導モデル事業（平成27年度実施事業）」について 機能性食品表示制度開始に伴う対応について 表彰候補者の推薦について 他
第2回 6月6日	静岡県男女共同参画センター あざれあ	22	研修部DVD研修会アンケート結果及び演習アンケート結果について 第2版キャリアノート配布について 広報部「栄養士のおすすめメニュー」募集について 日本栄養士会DATについて 日本栄養士会長表彰及び静岡県栄養士会長表彰候補者の決定について 知事功労別表彰（保健衛生功労）の候補者の推薦について 他
第3回 7月25日	静岡県栄養士会事務所	20	通信運搬費増加による平成27年度予算の取り扱いについて 平成28年度以降の事業計画について 定時総会アンケート結果報告について 会員増に関する取組みについて 平成27年度栄養関連システム販売について 「第3回ふじのくに健康長寿サミット」へのブース出展について JDA-DATネパール義捐金について 各種顕彰への推薦について 他
第4回 10月24日	静岡県栄養士会事務所	21	平成28年度予算編成について （仮称）顕彰選考委員会の発足について ホームページ「Web入会申し込み」の変更について トピックス静栄について お弁当コンテストの実施要領(案)について 地区研修部 各地イベントについて 理事任期満了に伴う役員改選について マイナンバー制度への対応について 他
第5回 12月12日	静岡県栄養士会事務所	22	平成28年度事業計画について 正会員費の値上げについて 収益事業「栄養計算関連システム」販売事業について 次年度の研修会のあり方について 静岡県地域防災計画に関する支援計画の見直しについて 災害支援積立金について 「静岡県健康福祉推進初ワーク事業」に係る多職種連携広域会議参加者推薦について 第1回静岡県栄養士大会：研究発表会及び交流会について 「しずおか健康づくりがーが連携・協働のつどいin沼津」へのブース出展について 第1回選挙管理委員会報告について 他
第6回 1月23日	静岡県栄養士会事務所	22	平成28年度の予算編成について 定款細則の改正について 若い栄養士を育てる教室の開催策について 会員増対策について 次年度の研修会のあり方等について 第1回静岡県栄養士大会：研究発表会及び交流会について 地区代表者会議報告について 平成28年度診療報酬改正に伴う研修会開催について 他
第7回 3月20日	静岡県栄養士会事務所	20	平成28年度事業計画及び収支予算案の承認について 次年度の研修会について 平成28年5月 栄養士交流会について 地域包括ケア推進に伴う今後の課題について 福祉事業部新事業（福祉寺子屋の開催）の提案について お友達紹介制度について トピックス静栄第8号について ホームページの「研修会申込み」フォームの改定について 他

(3) 年間活動報告

1) 公益社団法人日本栄養士会 定時総会

平成27年6月21・22日 【会場：大阪市】

出席代議員：坪井 厚、鈴木真理子、西島あけみ、岡本康子、久保田美保子、若林恭子、寺田直哉

2) 公益社団法人日本栄養士会 諮問会議

第1回：平成27年5月16・17日 第2回：平成28年2月13・14日 【会場：日本栄養士会事務所】

出席者：坪井 厚

3) 東海北陸地区会長等合同会議

平成27年9月5日・6日 【会場：あわら市】

出席者：坪井 厚、西島あけみ、菅野廣一、永田順子、鈴木真理子

4) 公益社団法人日本栄養士会 職域事業部全国代表者会議・研修会などへの派遣

職域名	開催日	開催地	名 称	氏 名		
医 療	5月9日	東京	第1回医療事業企画運営委員会	岡本康子		
	5月9・10日	東京	医療事業部全国リーダー研修会	岡本康子	渡邊美子	
	12月5日	東京	日本栄養士会TNT-Dインストラクター	岡本康子		
	8月29日	名古屋	東海北陸地区リーダー育成研修会	岡本康子	久保田美保子	
	11月21日	東京	第3回医療事業企画運営委員会	岡本康子		
	1月30日	東京	第4回医療事業企画運営委員会	岡本康子		
	2月6・7日	三重	東海北陸地区リーダー育成研修会	岡本康子	渡邊美子	
	3月5日6日	名古屋	食事療法学会	岡本康子・久保田美保子・古橋啓子・渡邊美子		
学校健康教育	11月28・29日	東京	学校健康教育事業部全国研修会	佐野順子		
勤労者支援	—	—	—	—	—	—
研究教育	3月12・13日	新神戸	全国研究教育栄養士研修会及び 研究教育事業部全国リーダー研修会	篠原啓子		
公衆衛生	4月25日	東京	全国行政栄養士育成のためのリーダー研修会	永田順子		
	9月27日	福岡	公衆衛生事業部自由集会	水嶋美穂子		
地域活動	9月27日	福岡	地域活動事業部情報交換会	若林恭子		
	3月18・19日	埼玉	地域活動事業部全国リーダー研修会及び 公衆栄養活動研究会	若林恭子	森田久美子	池谷広美
福 祉	10月10日	東京	全国福祉栄養士研修会	寺田直哉	関 明子	
	3月5・6日	東京	福祉事業部全国リーダー研修会	寺田直哉		
生涯教育	11月8日	東京	日本栄養士会生涯学習担当者会議	古橋啓子	渡邊美子	

5) 他団体との連携

内 容	開 催 日			
静岡県給食協会総会、他	6/19	1/28		
静岡県健康づくり食生活推進協議会総会	5/27			
静岡県腎友会総会	7/5			
静岡県牛乳普及協会 料理コンクール審査、他	10/4			
静岡県健康福祉推進ネットワーク会議	3/16			
静岡県健康福祉ネットワーク事業多職種連携広域会議	1/14	1/28		
静岡県健康福祉大会	10/16			
ふじのくに食の都の祭典	2/20			
ふじのくに食の都づくり県民大会	3/15			
ふじのくに健康長寿日本一推進会議	2/8	3/18		
静岡県8020推進住民会議、部会	5/28	1/21	2/7	3/8
しずおか健康いきいきフォーラム21総会	6/11			
静岡市食育推進会議	7/29	1/28		
静岡市「地域包括ケアを支える仕組みづくり研修会	9/28			
静岡県ふじのくに健康増進計画推進協議会、部会	1/27	3/22		
静岡県減塩55プログラム検討会	6/5	10/20	2/8	
減塩フォーラム	9/27			

6) 表彰に関する事項

表彰日	項 目	内 容	受賞者
6月6日	静岡県栄養士会	栄養指導業務功労者	天野幸子 他5名
9月27日	厚生労働大臣表彰	栄養改善事業功労者	西島あけみ 岡本康子
		栄養指導業務功労者	小田恵子
9月27日	日本栄養士会	会長表彰（栄養士制度・栄養士会誕生70年記念事業）	坪井 厚 菅野廣一
		会長表彰（50年業務貢献者）	芦澤裕子
		会長表彰（25年業務貢献者）	秋谷喜志子 他19名
10月16日	静岡県知事	栄養指導業務功労者	佐野ちえみ

(4) 会員の状況 (平成28年3月31日現在)

1) 名誉会員 2名

2) 正会員 (会費納入人数)

継続会員	1,292名
新入会員	150名
計	1,442名

職域事業部別会員数 [※名誉会員は含まない。]

医療	学校健康教育	勤労者支援	研究教育	公衆衛生	地域活動	福祉	計
523名	90名	31名	49名	110名	270名	369名	1,442名

※会員増に向けての取り組み状況

- ① 「メールマガジン会員制度」 (平成18年度から実施)
(再掲) メールマガジン登録者 659名 (平成27年度末)
- ② 「いちご会員制度」 (平成23年度から実施)
- ③ 「お友達紹介制度」 (平成25年度から実施)
平成27年度 制度利用の入会者 24名
平成27年度 研修会で無料券を使用した人 延べ16名
- ④ 平成27年3月に養成校を卒業する学生を対象に、5月末までの間入会キャンペーンを行い会員増を図った結果、新入会員は前年度に比べ、約30%の増となった。
キャンペーン内容：年間フリーパス交付 (1年間研修会受講料無料) など

3) 賛助会員 68社

貸借対照表
平成 28年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,418,940	12,863,246	555,694
未収金	1,529,186	1,692,241	△ 163,055
貯蔵品	53,634	130,604	△ 76,970
仮払金	0	9,600	△ 9,600
流動資産合計	15,001,760	14,695,691	306,069
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
記念事業積立預金	1,609,401	1,507,760	101,641
特定資産合計	1,609,401	1,507,760	101,641
(3) その他固定資産			
什器備品	3	30,106	△ 30,103
電話加入権	72,800	72,800	0
敷金	306,000	306,000	0
その他固定資産合計	378,803	408,906	△ 30,103
固定資産合計	1,988,204	1,916,666	71,538
資産合計	16,989,964	16,612,357	377,607
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	50,200	190,122	△ 139,922
前受金	7,638,000	0	7,638,000
預り金	3,932,000	9,375,500	△ 5,443,500
流動負債合計	11,620,200	9,565,622	2,054,578
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	11,620,200	9,565,622	2,054,578
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	5,369,764	7,046,735	△ 1,676,971
正味財産合計	5,369,764	7,046,735	△ 1,676,971
負債及び正味財産合計	16,989,964	16,612,357	377,607

正味財産増減計算書

平成 27年 4月 1日 から平成 28年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金			
受取入会金	150,000	113,000	37,000
受取会費			
正会員受取会費	10,815,000	11,055,000	△ 240,000
賛助会員受取会費	2,025,000	2,145,000	△ 120,000
受取会費計	12,840,000	13,200,000	△ 360,000
事業収益			
公 1	4,639,762	5,806,875	△ 1,167,113
公 2	6,029,789	7,392,894	△ 1,363,105
収 1	752,328	610,660	141,668
事業収益計	11,421,879	13,810,429	△ 2,388,550
受取負担金			
各研修会負担金	1,704,000	2,949,000	△ 1,245,000
雑収益			
受取利息	4,051	3,813	238
雑収益	416,380	261,250	155,130
雑収益計	420,431	265,063	155,368
経常収益計	26,536,310	30,337,492	△ 3,801,182
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	5,841,080	4,787,805	1,053,275
福利厚生費	626,818	467,432	159,386
旅費交通費	3,651,883	4,047,340	△ 395,457
通信運搬費	1,375,117	1,016,315	358,802
減価償却費	20,800	20,081	719
消耗品費	1,025,130	1,389,758	△ 364,628
修繕費	74,852	42,068	32,784
印刷製本費	121,644	283,889	△ 162,245
光熱水料費	57,632	77,517	△ 19,885
賃借料	589,367	855,818	△ 266,451
保険料	84,824	82,912	1,912
諸謝金	8,415,454	9,790,550	△ 1,375,096
租税公課	90,000	106,068	△ 16,068
支払負担金	28,482	83,037	△ 54,555
地代家賃	1,050,329	1,007,603	42,726
委託費	874,163	930,560	△ 56,397
渉外費	92,854	100,148	△ 7,294
会議費	125,567	193,924	△ 68,357
雑費	15,095	6,427	8,668
事業費計	24,161,091	25,289,252	△ 1,128,161

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料手当	1,143,930	1,813,325	△ 669,395
福利厚生費	179,897	274,518	△ 94,621
会議費	106,178	1,044,726	△ 938,548
渉外費	6,180	0	6,180
旅費交通費	283,742	55,494	228,248
通信運搬費	309,448	207,149	102,299
減価償却費	9,303	10,022	△ 719
消耗品費	168,894	133,041	35,853
修繕費	33,472	21,004	12,468
印刷製本費	2,904	88,289	△ 85,385
光熱水料費	32,422	38,703	△ 6,281
賃借料	142,374	164,592	△ 22,218
保険料	37,926	41,396	△ 3,470
諸謝金	5,000	1,332	3,668
租税公課	925,000	343,932	581,068
支払負担金	7,758	8,361	△ 603
地代家賃	469,687	503,045	△ 33,358
委託費	181,325	232,276	△ 50,951
雑費	6,750	20,915	△ 14,165
管理費計	4,052,190	5,002,120	△ 949,930
経常費用計	28,213,281	30,291,372	△ 2,078,091
評価損益等調整前当期経常増	△ 1,676,971	46,120	△ 1,723,091
当期経常増減額	△ 1,676,971	46,120	△ 1,723,091
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減	△ 1,676,971	46,120	△ 1,723,091
当期一般正味財産増減額	△ 1,676,971	46,120	△ 1,723,091
一般正味財産期首残高	7,046,735	7,000,615	46,120
一般正味財産期末残高	5,369,764	7,046,735	△ 1,676,971
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	5,369,764	7,046,735	△ 1,676,971

財 産 目 録
平成28年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金 普通預金 定期預金 未収金 貯蔵品	現金	手元保管	運転資金として	52,111
	普通預金	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.12300-15650791)	同上	1,452,193
		郵貯銀行/名古屋貯金事務センター (No.00870-9-57832)	同上	7,685,000
		静岡銀行/呉服町支店 (No.1285838)	同上	2,067,044
	定期預金	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-12)	同上	2,162,592
		静岡県 食の環境整備事業	27年度委託料	799,606
	未収金	静岡市 外食栄養成分表示推進事業	27年度委託料	622,080
		日本栄養士連盟静岡県支部	27年度事務委託料	100,000
		正会員	27年度正会員費	7,500
		手元保管	郵便切手	8,494
貯蔵品	手元保管	栄養ケア・ステーションツール	45,140	
	手元保管			
流動資産合計				15,001,760
(固定資産)				
特定資産				
記念事業 積立預金	記念事業 積立預金	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-01)	記念事業として使用	103,179
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-02)	同上	103,179
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-03)	同上	101,743
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-10)	同上	100,120
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-11)	同上	901,080
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-13)	同上	100,070
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-14)	同上	100,030
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-15)	同上	100,000
その他固定資産				
什器備品 電話加入権 敷金	什器備品 電話加入権 敷金		パソコン 他	3
			#282-5507 他	72,800
			事務所家賃敷金	306,000
固定資産合計				1,988,204
資産合計				16,989,964
(流動負債)				
未払金 前受金 預り金	販売事業 会員(就労報酬) 幼児から始める食育講座		栄養計算関連システム作成料	49,200
			27年度貸金	1,000
			28年度静岡栄会費	7,638,000
預り金		28年度日栄会費 他	3,932,000	
流動負債合計				11,620,200
固定負債合計				0
負債合計				11,620,200
正味財産				5,369,764

監査報告書

公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 坪井 厚 殿

平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日迄）の事業報告及び附属明細書、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、財産目録及び附属明細書を監査した結果、適法に処理、記載されていると認める。

以上

平成28年 4月 21日

公益社団法人 静岡県栄養士会

監事 青木 慧子 

監事 紅林 真佐代 

第3号議案

役員選任の件

定款第13条、第22条及び第25条に基づく役員任期満了に伴う役員改選について

下記候補者の承認について諮ります。

- (1)理事（任期：平成28～29年度） 22名
- (2)監事（任期：平成28～29年度） 2名

定款細則第12条及び役員選任規程に基づく役員選挙結果（信任投票）による候補者氏名

(届出順)

	所属職域	会員番号	氏名	住所	勤務先
理事	1 医療	201	坪井 厚	焼津市	
	2 医療	1931	岡本康子	浜松市	浜松医療センター
	3 地域活動	3627	池谷広美	沼津市	
	4 研究教育	4466	新井英一	静岡市	静岡県立大学 食品栄養科学部
	5 地域活動	1063	若林恭子	富士宮市	
	6 福祉	2521	寺田直哉	焼津市	介護老人保健施設アポロン
	7 研究教育	2086	篠原啓子	富士市	日本大学短期大学部 食物栄養学科
	8 医療	599	久保田美保子	静岡市	静岡市立静岡病院 臨床栄養課
	9 医療	1504	渡邊美子	熱海市	熱海所記念病院 栄養科
	10 地域活動	3355	原田陽子	袋井市	
	11 地域活動	543	石垣範子	静岡市	
	12 医療	604	鈴木恭子	静岡市	静岡県立こども病院
	13 学校健康教育	1288	長谷川裕恵	富士市	富士宮市立北山中学校
	14 勤労者支援	90175	矢ノ下聖子	函南町	陸上自衛隊駒門駐屯地
	15 医療	1001	古橋啓子	浜松市	聖隷保健事業部
	16 福祉	4407	田森稔浩	静岡市	株式会社KEITO
	17 福祉	4766	諏訪千智	富士宮市	あしたか太陽の丘富士見学園
	18 公衆衛生	2211	赤堀摩弥	横浜市	静岡県健康福祉部健康増進課
	19 学校健康教育	423	渡瀬孝代	磐田市	磐田市立豊田南中学校
	20 勤労者支援	4852	福山易枝	浜松市	シダックスフードサービス(株)
	21 研究教育	2379	小嶋汐美	浜松市	常葉大学健康栄養学科
	22 公衆衛生	491	大瀧友恵	伊豆市	伊豆市健康支援課
監事	1 地域活動	1302897	秋谷喜志子	静岡市	
	2 福祉	425	紅林真佐代	静岡市	静岡老人ホーム

第4号議案

日本栄養士会代議員選任の件

本会定款細則第21条、日本栄養士会定款第6条及び同定款施行細則第7条に基づく代議員について

平成28年4月7日付の日本栄養士会からの通知により、代議員数は7名と決定しました。
よって、下記第7位までを代議員、第8位を補欠の代議員として承認することについて諮ります。

- 日本栄養士会代議員（任期：平成28～29年度） 7名
- 同 補欠代議員（任期：平成28～29年度） 1名

(得票順)

	所属職域	会員番号	氏名	住所	勤務先
1	研究教育	4466	新井英一	静岡市	静岡県立大学 食品栄養科学部
2	福祉	2521	寺田直哉	焼津市	介護老人保健施設アポロン
3	地域活動	1063	若林恭子	富士宮市	
4	医療	201	坪井 厚	焼津市	
5	学校健康教育	699	鈴木真理子	焼津市	
6	医療	1931	岡本康子	浜松市	浜松医療センター
7	医療	1001	古橋啓子	浜松市	聖隷保健事業部
補欠	医療	599	久保田美保子	静岡市	静岡市立静岡病院 臨床栄養課

平成28年度公益社団法人静岡県栄養士会事業計画

I 基本方針

公益社団法人静岡県栄養士会は、すべての人の「自己実現をめざし健やかによりよく生きる」とのニーズに応え、保健・医療・福祉・教育等の分野において、専門職業人としての倫理と科学的かつ高度な技術に裏付けられた食と栄養の指導を通し公衆衛生の向上に寄与することを目的として事業計画を立てました。

今年度の事業内容の特徴

- ・ 少子高齢社会から生まれる国民への負担を、食と栄養の科学的知識の啓発をもって、多職種と連携し、社会貢献するための事業を実施する。
- ・ 重点項目実現のため、就労する栄養士・管理栄養士が皆会員となるよう、魅力的な事業を展開し、会員数増加による組織力強化を図る。
- ・ 会員が習得した知識を、社会で十分に発揮できるような研修会や情報交換会を企画し、栄養士・管理栄養士が、より多くの国民・県民の支持を頂ける事業を推進する。
- ・ 自然災害での食支援体制の構築に向け、日栄DAT並びに県防災対策室との連携強化を図ると共に、会員の支援活動への理解を深める事業を実施する。

II 重点項目

- 1 県民の健康の維持増進を目的に、0歳児から高齢者までライフステージに応じた栄養管理を支援します。また、その技術を習得するための講演会・研修会・勉強会を開催いたします。
- 2 栄養ケア・ステーションでは、安心して安全、且つ効率的に健康維持増進に役立つ食に関する知識を提供する栄養士・管理栄養士を紹介いたします。
 - ・ 健康保険組合の特定保健指導の推進に連携協力し、県民のメタボリックシンドローム（生活習慣病）の予防に努める管理栄養士の紹介を引き続き実施します。
 - ・ 県内各地区の医師会との契約締結を推進し、生活習慣病の重篤化予防のための栄養食事指導を行う管理栄養士を紹介いたします。
- 3 県・市町健康づくり担当課等と連携し、行政の健康増進と疾病予防等の政策に協力します。
- 4 傷病者の病気回復、合併症予防、社会復帰支援等の病態栄養食事指導を行います。そのための最新情報の習得、科学的根拠に基づく食支援等の技術向上研修会を開催します。医療費の支出をできる限り小額とするための栄養管理と食支援を行います。
- 5 高齢者施設入所者の健康と身体機能の維持向上のため、高齢者個々人に合った栄養管理と食支援を目指します。介護保険料の支出を最小限に抑えるよう栄養管理と食支援を行います。また、その技術向上のための研修会を開催します。
- 6 関連職能団体との連携を深め、県民の健康維持増進と傷病者への支援、生活習慣病予防、高齢者の栄養管理など、県民が生きがいをもって生活できる社会の実現に資するための公益的な事業を推進します。
- 7 在宅療養者・居宅要介護者に対し、地域包括支援センターを中心とする関連職種と連携を図り、栄養管理と食支援の推進に努力します。
- 8 国・県・市町に対し、本会の目的である県民の食を介しての健康増進と健康寿命の延伸に資するため、必要な政策等の要望を提言します。
- 9 静栄DAT（災害支援チーム）組織強化のための会員研修・DATリーダーの育成を推進します。

Ⅲ公益目的事業

公1	科学的根拠に基づく食と栄養の指導や支援を通して、県民の公衆衛生の向上に寄与する事業
-----------	---

(1) 健康栄養知識普及事業

内 容	県内各市町で実施する健康まつり等のイベントで行う栄養教育全般(展示、栄養相談、講話等)について、各地区在住の栄養士・管理栄養士を派遣することにより、望ましい食生活の知識普及や情報提供を行い、「食を通して人を育む」県民運動の推進に協力する。				
実施時期・回数	5月～2月・30件	会場	各市町保健センター等	参加予定人数	50,000人

(2) 健康づくり啓発協力事業

内 容	各種公共団体が実施する県民を対象とした講座・セミナー等に各地区在住の栄養士・管理栄養士を派遣し、食育を中心に、健康や食品に関する体験学習活動を実施し、健康づくりのための啓発事業に協力する。				
実施時期・回数	8月～3月・4～5回	会場	ツインメッセ他	参加予定人数	3,000人

(3) 在宅介護者への食生活指導講演会

内 容	超高齢化が進む中で、病院等における在院日数の短縮等により、在宅で療養する人が増加している。そこで、包括支援センター職員にも参加を呼び掛け、心身に障がいのある在宅者や介護者のQOLの向上を目指し、適切な栄養管理を支援するための講演会を開催する。				
実施時期・回数	11月・1回	会場	あざれあ	受講予定人数	80人

(4) 幼児から始める食育講座【静岡県茶業農産課委託事業】

内 容	乳幼児の保護者を対象に、「食育推進リーダー」により、日本型食生活の効用、子育て時に必要な食事等の知識普及のための講義及び県内農産物を使用した子育て期に相応した調理実習等の体験活動を提供する。				
実施時期・回数	5月～2月・6回	会場	幼稚園等	受講予定人数	150人

(5) 食の環境整備事業【静岡県健康増進課委託事業】

内 容	【新規取組】 県民に対し、栄養バランスの知識の普及を図るため、下記の事業を実施する。 ①働き盛り世代の食の課題解決の秘訣をまとめた指導用資料を作成する。 ②店頭において、指導用資料を活用し、講話、相談、試食等を行う。				
実施時期・回数	7月～2月	会場	スーパー・飲食店等	受講予定人数	未定

(6) (仮称)食品栄養成分表示支援事業【静岡県衛生課委託事業】

内 容	食品表示法施行に伴い、新しい食品表示制度により栄養成分表示が義務化されたため、加工食品業者に対し、栄養成分表示作成の説明と技術的な演習を行い、受講者が自ら栄養成分表示の作成ができるよう指導する。もって、不適正表示を未然に防止する。また、静岡県健康づくり食生活推進協議会会員を対象とする食品表示説明会に講師を派遣する。同協議会会員に情報提供することにより、会員から地域住民への周知を図る。 ①中小食品関連事業者対象講習会の講話とテキスト作成 県内3会場(東・中・西部 各1回) 対象者数:約450名 ③静岡県健康づくり食生活推進協議会会員への栄養成分表示等の説明と説明資料作成 年1回(6月) 対象者数:約300名				
-----	--	--	--	--	--

(7) 外食料理栄養成分表示店促進事業【静岡市委託事業】

内 容	静岡市内において、栄養成分表示店を増やすよう飲食店への啓発と指導を行うとともに、既存の栄養成分表示店には、表示のフォローアップ及び表示メニューを増やすことなどを指導することにより、市民の健康づくりや疾病予防を推進する。				
実施時期 ・回数	5月～2月	会場	静岡市内飲食店	実施予定店舗数	24店

(8) 外食料理栄養成分表示推進事業【富士宮市フードバレー推進協議会委託事業】

内 容	富士宮市内において、栄養成分表示店を増やすよう飲食店への啓発と指導を行うとともに、既存の栄養成分表示店には、表示のフォローアップ及び表示メニューを増やすことなどを指導する。特に、地場産品の食材を使用したメニューのある「地産地消登録店」を増やし、食のまちとしての活性化を図る。				
実施時期 ・回数	4月～2月	会場	富士宮市内飲食店	実施予定店舗数	10店

(9) 飲食店等の栄養成分表示定着促進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

内 容	静岡県飲食業組合に加盟する店舗に対し、栄養成分表示の啓発と指導を行うことにより、県民の健康づくりや疾病予防の向上を図る。				
実施時期 ・回数	5月～2月	会場	県内飲食店	実施予定店舗数	9店

(10) 元気を見つめる外食活用推進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

内 容	静岡県教育員会と連携し、県内の高等学校において生徒を対象に、栄養に関する講義と外食料理を取り入れた食事指導のための調理実習を行う。また、飲食店を会場に、外食利用者(主に中高年者)への栄養成分表示等に関する講義を行い、栄養知識の普及啓発を図る。更に、一般県民を対象とした栄養相談等において「食事バランスガイド」普及啓発のための冊子「副菜おひとつ召し上がれ」を活用し、県民の健康増進の啓発を図る。				
実施時期 ・回数	5月～2月	会場	高等学校3カ所 飲食店3～4カ所	受講予定人数	200人

(11) 栄養ケア・ステーション推進事業

内 容	<p>急速な高齢化や生活習慣の変化により疾病構造が変化し、疾病全体に占めるがん、虚血性心疾患、脳血管障害、糖尿病等の生活習慣病の割合が増加している。このため、「健康日本21」に基づき、平成20年度から生活習慣病予防や保健指導等の実施に係る活動拠点として、全国の中でも、先進的に事業を進めている。事務局にコーディネーターを配置し、行政、医療機関、福祉施設、民間企業等から仕事を請け負い、登録会員に下記業務を提供しており、有料職業紹介事業所の資格も有している。</p> <p>業務遂行のため、必要に応じて研修会を開催する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 特定保健指導 2) 病態栄養食事指導 3) 在宅介護支援栄養指導 4) 栄養相談、栄養指導 5) 食育支援栄養指導(食育体験学習指導を含む) 6) 外食料理栄養成分表示指導 7) 食や栄養に関する情報提供、資料作成 				
-----	--	--	--	--	--

(12) 県民栄養調査に関する事業

内 容	県民の健康に関する様々な視点における栄養調査を2年に1度実施し、結果をホームページ上に掲載している。前回調査は県内の大学、短期大学女子学生を対象に「成人病胎児起源説への意識調査を行った。平成28年度は、会員の知りたい情報、役立つ内容を各職域からの意見や提案から集め、調査内容を検討し、実施のための計画立案を行う。
-----	--

(13) 広報事業

内 容	<p>栄養士に関わる法律等は、目まぐるしく変化している。それらの情報をいち早く収集し、会員及び県民に情報提供するため、静岡県栄養士会はホームページ、メールマガジンを充実させてきた。今後は、より利便性を高めるためのシステムを構築することを検討していく。</p> <p>また、県民に対して「『栄養士会』が何をしているところなのか、また、栄養士・管理栄養士の仕事を身近に感じてもらう」ことを周知できるような取り組みも検討し、社会認知、地位向上を図る。</p> <p>・ホームページ更新(月2回) ・メールマガジン配信(月2回) ・トピックス静岡第9号 発刊 ・「栄養士のおすすめメニュー」募集、配信</p>
-----	---

公2	県民の健康維持増進を目的とし、他職種との連携を図り事業を推進するために、管理栄養士・栄養士の資質を向上する事業
-----------	---

(1) 定時総会講演会

内 容	<p>①「健康長寿日本一 ふじのくにの挑戦 ～減塩55プログラムを中心に～」 静岡県健康福祉部 健康増進課長 土屋厚子氏の講話</p> <p>②「21世紀の社会に求められる栄養士・管理栄養士の展望」 日本栄養士会監事 早野貴史弁護士をお招きし、少子高齢社会を“食のプライマリ・ヘルス・ケア”で確かに支えていく栄養士・管理栄養士であるため、栄養士制度をあらためて見つめ直し、また今何をすべきかを考える機会とする。 早野弁護士 と 坪井会長との対談も実施する。</p>				
実施時期・回数	6月5日	会場	静岡労政会館	受講予定人数	300名

(2) フレッシュマン研修会

内 容	<p>就職して間もない会員を対象として実施する。</p> <p>・静岡県栄養士会の活動を知る。 ・資質の向上にむけた研修会申し込み方法などを理解。 ・同じ分野、年代を越えて活動する栄養士・管理栄養士の仲間づくり、情報共有</p>				
実施時期・回数	5月・3回	会場	グランシップ他	受講予定人数	20名×3

(3) 静岡県栄養士大会(学術研究会及び交流会)

内 容	<p>静岡県栄養士会独自の事業として、平成27年度より開催している。第1回は130名を超える様々な事業部の会員が参加、交流を図り、参加者からは良い刺激を受けたとの評価を得た。学会発表はハードルが高いと感じられる人には、本会からスタートし、自己研鑽を積み、質の高い栄養士としてさらに飛躍するための場を提供する。平成28年度は規模を拡大し、より多くの参加者を募り、会員の取り組みや成果を共有し、さらなる発展を目指す。</p>				
実施時期・回数	2月・1回	会場	中部	受講予定人数	300人

(4) 生涯教育基本研修会

内 容	日本栄養士会の生涯教育制度に基づき、非会員にも参加を呼び掛け、栄養士・管理栄養士として継続的能力を維持するための基本研修会を開催する。 栄養ケアプロセス他(講義及び演習)				
実施時期 ・回数	8月～1月 6回	会場	あざれあ	受講予定人数	延べ 120名

(5) 生涯教育実務研修会

内 容	日本栄養士会の生涯教育制度に基づき、非会員にも参加を呼び掛け、栄養士・管理栄養士として継続的能力を維持するための実務研修会を開催する。 8月 中部 アレルギー 9月 西部 摂食・嚥下 2コマ (藤島一郎先生) 10月 中部 栄養診断 2コマ (足立かよ子先生) 11月 東部 生化学 2コマ (武田英二先生) 1月 中部 地域包括ケア 静岡県の取組み 2月 中部 病態(糖尿病or腎臓病) 1コマ				
実施時期 ・回数	8月～1月 6回	会場	あざれあ他	受講予定人数	80～120名×6

(6) 福祉寺子屋

内 容	福祉事業部の会員の抱えている問題は様々であり、大勢が不安を抱え業務を行っている現状がある。このため、少しでも不安が解消できるように、栄養ケア・マネジメントを材料に、寺子屋形式での勉強会を開催する。				
実施時期 ・回数	3回	会場	静岡県栄養士会 事務所	受講予定人数	20人/回

(7) 統計講座

内 容	栄養士・管理栄養士は、データの集計や解析する力が極めて弱い。「効果」や「実績」を数値で表現しなければ、我々の地位も向上できない。また、研究会や栄養士大会などで研究、調査発表ができる栄養士が求められている。そのため、研究デザインの構築やまとめ方、さらにはどのような統計手法を選ぶべきか等、初歩的なことから学び直す講座を、研修会とは別に開催する。				
実施時期 ・回数	秋頃・3回	会場	東部、中部、西部	受講予定人数	60人

(8) 地区別健康づくり推進事業

内 容	県内を9地区にわけ、各地区において小規模研修事業やイベントを企画運営し、地域に密着した県民の健康づくり支援を推進する。また、県内東部・中部・西部の3ブロックごとに研修会を開催し、会員の居住地の近いところで研修を受けることができるようにする。これにより、会員相互の情報交換、仲間づくりの機会とし、会員の継続入会や新規会員の増をめざす。 ①東・中・西ブロック研修を企画・運営(年3回) ②各地区小規模研修を開催する。 ③地区別イベントの開催 ④県内で行われる大規模イベント等への出展協力 ⑤代表者会議やブロック別運営会議の開催。 ⑥市町や県との事業への積極的参加により、栄養士会の理解と周知をする。
-----	---

(9) 災害時栄養支援事業

内 容	予想される東海地震等災害発生時に備え、有事の際に直ちに県・市町に協力し活動できる組織(静栄DAT)の体制を強化するとともに、災害時における食支援に役立つ知識・技術の習得のための研修会を開催する。 ①災害時栄養支援スタッフ養成研修会開催 1回 ②静栄DAT運営委員会開催 ③JDA-DATリーダー育成研修会への受講者派遣
-----	--

IV収益事業

収1	販売等の事業
内 容	特定保健指導に使用するツール、書籍等の販売を行う。

V その他

(1) 事業部運営

① 職域事業部

職域事業部名	運営方針
医療	平成28年度診療報酬改定への各病院の対応と栄養食事指導の効果を検証する。適切な栄養ケアプロセスを理解し、有効に活用できるような研修会を開催する。地域包括システムをどのように他職種と連携し推進していくか、体制づくりを検討する。
学校健康教育	幼稚園、小中学校、特別支援学校及び夜間定時制高校において、学校給食の栄養管理と食に関する指導を通して、幼児、児童生徒、県民の健康増進、生活習慣病予防に寄与する。
勤労者支援	働く人々を健康にする社会の実現に貢献、健康寿命延伸を推進する。また、未病及び生活習慣病の対策をし、勤労者の生活習慣病予防の確立を進めるため、ひとりでも多く会員を増やし、会員同士が連携できるような事業部を目指す。平成28年度は、学校健康教育事業部・地域活動事業部と合同で研修会を開催予定。
研究教育	県内5つの養成校の連携をより密に図り、栄養士会に対する学術面のサポートおよび、栄養士会への学生の参加なども検討し、体制を整備する。
公衆衛生	生涯を通じた健康づくり・栄養改善の推進のため、専門性を用い県民の健康寿命の延伸及び健康格差の縮小の実現に貢献することを目指す。平成28年度は地域活動事業部、研究教育事業部と合同で研修会を開催予定。
地域活動	県民の健康づくりを支援するため、毎年、本会は県、市、関係団体からの委託事業を請け、「食育」「生活習慣病の予防」「外食料理栄養成分表示」などの業務を実施しているが、地域活動事業部会員はその大事な担い手となっている。このため、常に実践で活躍できる会員の育成を目指し、スキルアップ研修を企画、実施する。また、仲間づくりも重要であるため、会員同士の交流を図る。28年度は、認定栄養ケア・ステーション事業を見据え、他職種との連携を推進する。
福祉	乳幼児から高齢者、障がいのある方まで、幅広い福祉職場の仲間との情報交換会の開催計画や質の高い栄養ケアが実践できるよう、ケアマネジメントに関する勉強会の内容について協議する。また、会員同士の「つながり」の構築を目指し、会員増に取り組む。

② 研修部 運営方針

各種研修会や講演会の企画・立案・実行等の運営及び調整(生涯教育基本、実務、演習等)
 学術研究発表会の企画・立案・実行等の運営及び調整
 研修事業の情報共有・啓蒙活動
 認定管理栄養士・栄養士の書類認定審査の確認
 生涯教育の単位振替、自己研鑽の単位審査、修了証書の発行等

③ 地区事業部 運営方針

各地区の実情に即した研修会を企画・実施し、会員の資質向上および会員間の連携・交流を図る。また、地域密着型のイベントを企画・開催することにより、公益法人としての健康増進活動を展開する。

- ・代表者会議において、9地区の企画・運営の調整
- ・地区の利点を活かしたイベント開催により、市町等との多職種協働をするための活動を実施
- ・研修事業部と調整し、近隣会場での参加しやすい研修会企画
- ・会員増に向けて身近な情報発信

④ 静栄DAT 運営方針

災害時に栄養支援活動をすべき職能団体として、会長、副会長をはじめ、組織の核となるメンバー10名で構成する。日頃からの連携強化を目指すとともに、災害時に活躍できるスタッフの養成に取り組んでいる。現在登録スタッフは約100名となっている。市町の地域防災計画が具体的に進んでいる中、早急な対応が栄養士会にも求められており、更なるスタッフ養成の研修会を開催する。また、日本栄養士会が実施するJDA-DATリーダー育成研修会への参加も積極的に進めていく。

⑤ 会員増対策委員会

現在、会員数は減少傾向の一途をたどり、喫緊の課題である。昨年度から県内養成校および保健所にて新卒者、栄養士(管理栄養士)登録時に、入会案内パンフを配布した取り組みを実施しており、今年度も継続した対応を行う。また、平成28年度は交流会をはじめとした新規の取り組みを実施し、「魅力ある栄養士会」「研修会」を開催して、会員増の対策を検討する。

⑥ 顕彰選考委員会

多年にわたり栄養改善事業に尽力され、功績があった会員が受賞から漏れることが無く、多くの会員に受賞していただくために顕彰選考委員会を発足させる。現行の静岡県栄養士会表彰規定(平成11年5月17日施行・平成11年1月30日一部修正)を再考し、他県栄養士会との歩調を合わせながら表彰候補者推薦規定として整備し、表彰候補者の洗い出しや推薦方法の検討、推薦委員会の役割等を検討していく。表彰の種類は多く、静岡県栄養士会会長表彰、日本栄養士会会長表彰はもとより、静岡県知事表彰、厚生労働大臣表彰、公衆衛生事業功労表彰等々多くの顕彰候補推薦依頼がある。

(2) 関連団体会議への委員等就任

① 静岡県ふじのくに健康増進計画推進協議会

主催者	静岡県健康福祉部健康増進課
内容	県民の健康寿命の延伸や生活の質の向上を目指し、いきいきとした健康社会の実現を図るため、静岡県の健康増進計画の策定と推進、評価、見直しなどについて協議する。

② 静岡県民の歯や口の健康づくり会議

主催者	静岡県健康福祉部健康増進課
内容	生涯にわたる県民の歯や口の健康づくりに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、基本的な計画の策定と推進、評価、見直しなどについて協議する。

③ 減塩55プログラム検討会

主催者	静岡県健康福祉部健康増進課
内容	減塩に注目した健康長寿プログラム「減塩55プログラム」の開発にあたり開発方針の確認及びチェック票の開発、データ分析等に関する検討を行う。

④ ふじのくに健康寿命日本一推進県民会議

主催者	静岡県健康福祉部長寿政策課
内容	高齢化が進行する中、長寿者をはじめとするすべての県民が、心身ともに健康を保ち、生きがいを持って社会の一員として活動できる社会を実現し、関係団体、企業、行政等が連携し、社会全体で「健康寿命日本一」を推進することを目的に、普及啓発、情報共有、情報交換等を行う。

⑤ 静岡県男女共同参画推進会議

主催者	静岡県くらし・環境部男女共同参画課
内容	家庭や地域、学校、職場など社会のあらゆる分野における男女共同参画の自主的な取組をより一層強化するため、民間団体の主体的な取組を推進するためのネットワーク組織である。会議には、男女共同参画の趣旨に賛同する80の民間団体が加入し、研修会などの自主的な取組を行っている。

⑥ 静岡市食育推進会議

主催者	静岡市健康づくり推進課
内容	食育基本法に基づき、第2次静岡市食育推進計画(平成25年度～29年度)の推進及び進行管理のため、市民や食育の推進に関係する団体が参加して協議する。

⑦ 静岡市在宅医療・介護連携協議会 部会

主催者	静岡市高齢者福祉課
内容	静岡市の在宅医療及び在宅介護の連携の推進に関する事業計画の策定にあたり、必要な情報交換を行うとともに、計画に基づく取り組みを継続的に推進する。

⑧ 静岡県8020推進住民会議

主催者	静岡県8020推進住民会議(事務局:静岡県歯科医師会)
内容	静岡県条例に基づき、8020推進運動をとおして、県民の健康な生活を確保し、健康寿命の延伸と生活の質の向上に寄与するため、8020推進員の育成及び様々な8020運動の普及啓発活動を実施する。

⑨ 静岡県保険者協議会

主催者	静岡県国民健康保険団体連合会
内容	「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、静岡県内の医療保険者が共通認識を持って、生涯を通じた加入者の疾病予防・健康づくりの推進を図るため、保険者間の問題意識の共有や、それに基づく取り組みの推進等を図り、医療提供体制について、静岡県が策定する静岡県保健医療計画の策定又は変更にあたって意見提出を行う。

⑩ 静岡県健康福祉推進ネットワーク会議

主催者	社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会
内容	現在の多様化した福祉課題を解決するため、各種職能団体の連携強化を図り、医療・保健・福祉などのネットワークを形成するとともに、「健康福祉」という視点に立って、より良いサービスを住民に提供するための研究協議を行う。

⑪ しずおか健康いきいきフォーラム21

主催者	公益財団法人 しずおか健康長寿財団
内容	県民が心身共に健やかに暮らすことができる“ふじのくに”づくりに向け、県民総参加の「健康づくり県民運動」の推進を図り、県民の健康増進に寄与するため、県民への健康づくりに関する普及啓発活動や各種団体の交流、研修事業等を行う。

(3) 静岡県栄養士会「会員名簿」作成

各職域事業部の運営及び会員相互の情報交換など、会員に利用してもらうため、個人情報の取り扱いには十分留意し、隔年で発行している。

平成28年度は発行年のため、8月末現在の会員登録情報により作成する。

公益社団法人静岡県栄養士会平成28年度収支予算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業等会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引控 係	合計	摘要
	公1	公2	共通	小計	取1	小計				
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										経常収益計 26,903,800円
基本財産運用利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	公益目的事業 21,037,500円 I 公1経常収益計 10,370,000円
中科目別配賦										1 事業収益 10,340,000円 1) 幼児から始める食育講座 680,000円 2) 食の環境整備事業(県委託) 800,000円 3) (仮称)食品栄養成分表示支援事業(静岡市委託) 1,000,000円 4) 外食調理栄養成分表示店促進事業(静岡市委託) 580,000円 5) 外食栄養成分表示推進事業(富士宮市フーズレシ-協委託) 480,000円 6) 飲食店等の栄養成分表示定着促進事業(生活衛生営業指導センター委託) 350,000円 7) 元気をうつめる外食活用推進事業(生活衛生営業指導センター委託) 590,000円 8) 栄養ケア・ステージン推進事業 5,200,000円 9) 広告掲載収入 660,000円
特定資産受取利息										2 受取負担金 20,000円 非役員 @2,000円×10人=20,000円
受取入金	0	80,000	80,000	80,000	0	0	80,000	0	160,000	3 雑収益 10,000円 展示コマ代 @5,000円×2社(在宅介護者への食生活指導講演会)
受取入金										II 公2経常収益計 225,000円
受取会費		10,362,500	10,362,500	10,362,500	0	0	5,512,500	0	15,875,000	1 受取負担金 150,000円 会員@5,000円×30人(総計講座)
正会員受取会費	0	0	8,262,500	8,262,500	0	0	5,512,500	0	13,775,000	2 雑収益 75,000円 展示コマ代 @5,000円×15社(地区3社、生涯教育基本2社、生涯教育実務6社、災害時2社)
賛助会員受取会費	0	0	2,100,000	2,100,000	0	0	0	0	2,100,000	III 共通 10,442,500円
事業収益	10,340,000	0	0	10,340,000	10,000	10,000	0	0	10,350,000	1 受取入金 80,000円(新入会員@1,000円×80人) 2 受取会費 10,362,500円(正会員費8,262,500円、賛助会費2,100,000円)
栄養改善、健康づくり等事業収入	3,540,000			3,540,000			0		3,540,000	収益事業経常収益計 10,000円 販売等の事業 10,000円
疾病予防、食生活改善及び食育事業	940,000			940,000			0		940,000	法人会計経常収益計 5,856,300円 1 受取入金 80,000円(新入会員80人) 2 受取会費 5,512,500円(正会員) 3 雑収益263,800円
栄養ケアセンター・他販売事業	5,200,000			5,200,000	10,000	10,000	0	0	5,210,000	
広告掲載料収入	660,000			660,000			0		660,000	
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取負担金	20,000	150,000	0	170,000	0	0	0	0	170,000	
受取負担金	20,000	150,000		170,000			0		170,000	
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取寄付金										
雑収益	10,000	75,000	0	85,000	0	0	263,800	0	348,800	
受取利息							5,000	0	5,000	
雑収益	10,000	75,000		85,000			258,800		343,800	
経常収益計	10,370,000	225,000	10,442,500	21,037,500	10,000	10,000	5,856,300	0	26,903,800	

科 目	公益目的事業等会計			収益事業等会計		法人会計	内部取引控除	合 計	備 考
	公1	公2	共通	小計	取引				
(1)経費算用									
事業費	16,861,565	4,234,890	0	21,096,445	99,235	99,235	0	21,195,680	経常費用計 26,587,000円 公益目的事業 21,096,445円
材料費				0	1,000	1,000		1,000	I 公1経常費用計 16,861,565円 1)健康栄養知識普及事業 439,460円 2)健康づくり啓発協力事業 331,225円 3)在宅介護者への食生活指導講座 193,235円 4)幼児から始める食育講座(県委託) 819,460円 5)食の環境整備事業(県委託) 1,006,585円 6)(仮称)食品栄養成分表示推進事業(県委託) 1,127,460円 7)外食栄養成分表示推進事業(富山県市庁舎/ド/レ/シ/ー/協委託) 528,235円 8)飲食店等の栄養成分表示推進事業(生活衛生営業指導センター委託) 429,125円 9)飲食店等の栄養成分表示推進事業(生活衛生営業指導センター委託) 729,460円 10)元氣を元める外食活用推進事業(生活衛生営業指導センター委託) 8,349,785円 11)栄養ケア・ステーション推進事業 179,125円 12)県民栄養調査に関する事業 179,125円 13)広報事業 1,990,060円
給料手当	3,320,700	661,300		3,982,000	25,900	25,900		4,007,900	
福利厚生費	496,800	99,000		595,800	3,600	3,600		599,400	
会議費	30,000	82,000		112,000	0	0		112,000	
旅費交通費	1,640,340	1,708,680		3,349,020	3,060	3,060		3,352,080	
通信運搬費	626,600	72,200		698,800	2,400	2,400		701,200	
減価償却費	13,110	2,520		15,630	90	90		15,720	
研究研修費				0	0	0		0	II 公2経常費用計 4,234,890円 1)定時給金削減会他各種研修会 2,283,725円 2)地区別健康づくり推進研修会 861,710円 3)生涯教育基本研修会 675,985円 4)災害時栄養支援研修会 413,460円
消耗品費	870,350	198,200		1,068,550	1,650	1,650		1,070,200	
修繕費	48,070	9,240		57,310	330	330		57,640	
印刷製本費	367,990	22,660		390,670	810	810		391,480	
広報費				0	0	0		0	
光熱水料費	37,145	7,140		44,285	255	255		44,540	
賃借料	315,784	244,286		560,072	1,296	1,296		561,368	
地代賃費	664,240	127,680		791,920	4,560	4,560		796,480	
諸謝金	7,388,185	814,420		8,202,605	15	15		8,202,620	
租税公課	262,200	50,400		312,600	51,800	51,800		364,400	
保険料	53,751	10,332		64,083	369	369		64,452	
渉外費	14,770	66,840		81,610	30	30		81,640	
支払寄付金				0	0	0		0	
委託費	702,790	56,280		759,070	2,010	2,010		761,080	
有価証券運用損				0	0	0		0	
雑費	8,740	1,680		10,420	60	60		10,480	

科目	公益目的事業等会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引控除	合計	摘要
	公1	公2	共通	小計	取1	小計				
管理費							5,391,320	0	5,391,320	
役員報酬							0		0	
給料手当							2,012,100		2,012,100	
退職給付費用							0		0	
福利厚生費							300,600		300,600	
金庫費							106,000		106,000	
旅行交通費							485,520		485,520	
通信運搬費							380,800		380,800	
減価償却費							14,280		14,280	
消耗品費							261,800		261,800	
修繕費							52,360		52,360	
印刷製本費							126,520		126,520	
広聴費							0		0	
光熱水料費							40,460		40,460	
賃借料							205,632		205,632	
地代家賃							723,520		723,520	
贈附金							2,380		2,380	
租税公課							285,600		285,600	
保険料							58,546		58,546	
交際費							4,780		4,780	
委託費							318,920		318,920	
有価証券運用損							0		0	
雑費							9,520		9,520	
經常費用計	16,861,565	4,234,880	0	21,096,445	99,235	99,235	5,391,320	0	26,587,000	

科 目	公益目的事業等会計				収益事業等会計			法人合計	内部取引控除	合 計
	公1	公2	共通	小計	取引		小計			
					取1	取2				
前期繰越利益剰余金	△6,481,585	△4,009,880	10,442,500	△58,945	△89,235	△89,235	464,990	0	316,800	
資本財産評価増減等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特定資産評価増減等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資有価証券評価増減等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
評価増減等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	△6,481,585	△4,009,880	10,442,500	△58,945	△89,235	△89,235	464,990	0	316,800	
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
中科目別配賦				0		0			0	
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用										
中科目別配賦				0		0			0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他会計差替額									0	
当期一般正味財産増減額	△6,481,585	△4,009,880	10,442,500	△58,945	△89,235	△89,235	464,990	0	316,800	

事業 年度	自	平成28年4月1日	法人コード	A005293
	至	平成29年3月31日	法人名	公益社団法人静岡県栄養士会

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし		
事業番号	借入先	金額	使途	
		円		

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		なし		
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法又は 取得資金の使途	
		円		

報告事項②

公益社団法人静岡県栄養士会定款細則改正の件（報告）

第 10 条第 1 項第 1 号

正会員費 年額 14,000 円 を 年額 16,000 円に 改正

この細則の変更は、平成 27 年 12 月 12 日から施行する。